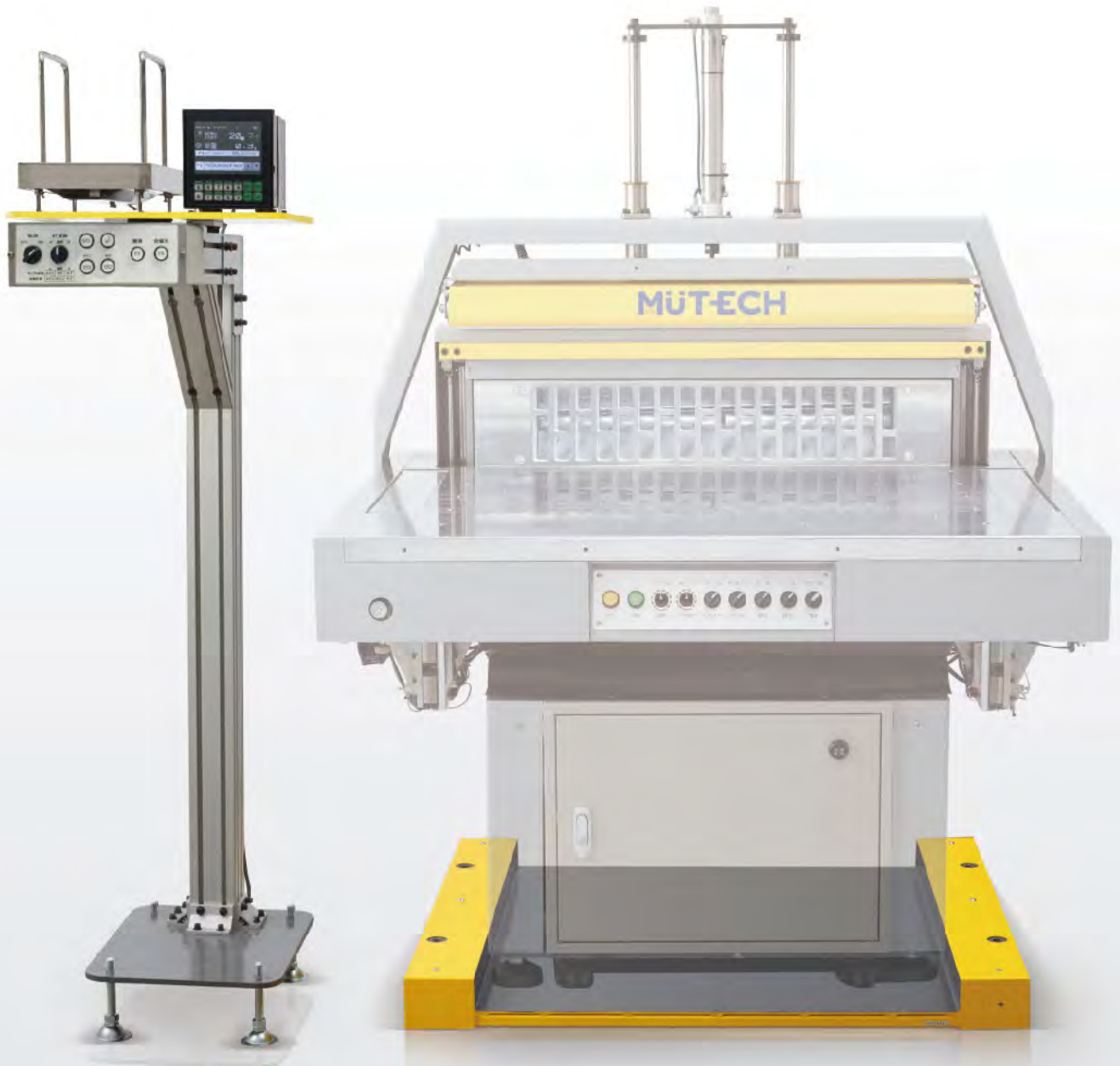


# MÜTECH

用紙計量装置 ミューカウントスケール MCS-32(四六半裁判型) MCS-40(菊全判型) MCS-44(四六全判型)

ジョガーと計数機の新しい関係、はじまる。

## *$\mu$ -Count Scale*



## 概要

断裁作業前に必要な計数と紙揃え作業を合理化することで、小分け断裁の工程を大きく変えます。ジョガーと計数器を一体化すれば、重労働からの解放と専門技術が不要です。また、ミューカウントスケールは、2種類のスケールを使い、紙のサイズと厚さにより使い分けすることができます。

## 特長

### ■ メインスケール



紙揃機はミューカウントスケール上に設置することで、メインスケールとして機能します。サンプル紙の重量を基準に、枚数を自動かつ正確に計数します。計る紙を載せ、重量が安定したところで、安定マークとプザーが計数完了をお知らせ。さらに、合紙を入れながらのカウントも合紙引き機能で、正確に計数できます。

### ■ サブスケール



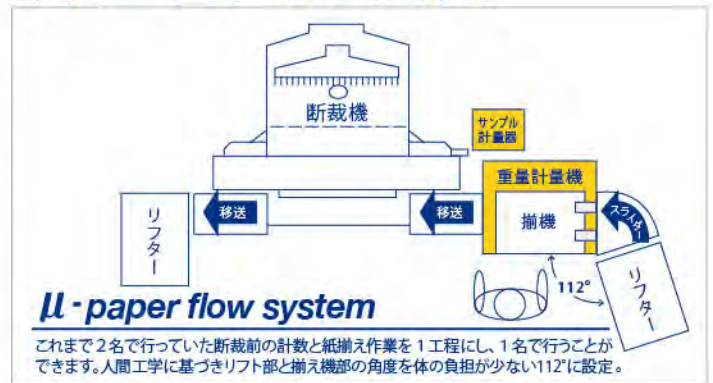
サンプル紙の重量をもとに枚数を自動で正確に計数。自立架台式のみならず、断裁機やペーパースライダー上にも設置することが可能。小裁ちされたものの計数機としても使えます。

### ■ 風除けBOX



室内の冷暖房の風などを遮断し、サンプル計量時の風による影響をなくします。

### ■ ミューペーパーフローシステム



### ■ 200枚ごとに合紙を入れて1,000枚を計数する場合の作業

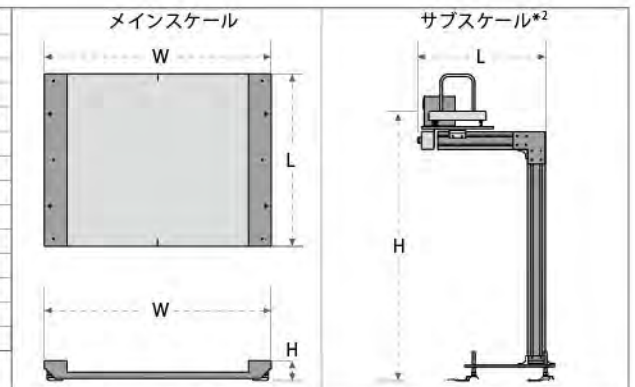
リフター	サンプル計量器	ペーパースライダー	カウンスケール
1. リフターに紙を載せる。	2. 用紙を20枚程度サンプル計数器に載せ、1枚あたりの「タンジュー」を計測する。	3. 用紙を紙揃え機に載せる。紙押し付ミューペーパースライダーを通すことで、紙を持ち上げずに移送できる。	4. 紙揃えを行いながら、同時に紙の枚数を自動計数。枚数を調整して200枚に合わせ「セキサン」ボタンを押す。
			5. 積算1回で200枚となり、合紙を入れ、合紙の重量を引くために「アイシビキ」ボタンを押す。
			6. 200枚を「セキサン5カイ」と表示され、累計「1000マイ」と表示され、計数が完了。その後断裁機へ。

## 仕様

機種	メインスケール			サブスケール	
	MCS-32	MCS-40	MCS-44	共通	
機械寸法	全長 (L) mm	850	900	960	600
	全幅 (W) mm	1,000	1,160	1,300	500
	全高 (H) mm	120	120	120	1,550±50
	70°Aからの高さ mm	55	55	55	—
最大坪量	kg	200	200	300	5
最大積載量	kg	700*1	700*1	800*1	5
最小表示	g	10	10	20	0.1
計数範囲	g~kg	20~200	20~200	40~300	g~kg 2~5
機械重量	kg	96	108	120	kg —
表示	LCD液晶グラフィック				
消費電力	30VA				
電源	AC100V 50Hz/60Hz				

\*1最大積載量は紙揃機の重さを含みます。

\*2サブスケールの図は自立架台に設置した場合です。



※製品は予告なく仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

# MUTECH

SINCE 1916

株式会社 ミューテック

175-0081 東京都板橋区新河岸2-19-3

Tel) 03 3977 1717 Fax) 03 3977 1712

info@mutech1916.com www.mutech1916.com